

戦 評 用 紙

女子2回戦

会場 市川市塩浜体育館

チーム名	総得点		総得点	チーム名	
県麻生	<u>36</u>	17	—	5	山陽
		19	—	12	
		—	—	—	
		—	—	—	
		—	—	—	
		7mTC			

前半1分、麻生は2番大久保のミドルシュートで先制すると、流れに乗って4点を連取、山陽は5分に14番倉岡のミドルシュートで反撃する。ペースを握った麻生は、ハイプレスのディフェンスとGK店曲の好セーブが光り、山陽ディフェンス陣を苦しめる。山陽は粘り強くディフェンスを続けるも、17-5の麻生のリードで折り返す。

後半も麻生ペースで試合が進む。オフェンス陣の的確な連携で山陽ディフェンス陣を崩すと、7番高須、9番杉山の鋭い切り返しなどで着実に得点を重ねる。山陽も11番磯川のカットインなどで反撃を試みるが総合力を見せつけた麻生が36-17で山陽を退け、3回戦に駒を進めた。

31年 3月 25日

記載者氏名 岩瀬 亮

平成30年度 第42回 全国高等学校ハンドボール選抜大会

試合番号

戦 評 用 紙

7

女子2回戦

会場 市川市塩浜体育館

チーム名	総得点		総得点	チーム名
川崎市立高津	19	10 - 8	18	小松市立
		9 - 10		
		-		
		-		
		-		
		7mTC		

前半序盤、市立高津の6番入内嶋を中心に機動力のある素晴らしい展開で先制、小松市立も4番藤井咲良、7番藤井美咲のキレのあるカットインで対抗する。両者の実力は拮抗し、中盤はどちらもリードを譲らぬ白熱した展開となる。終盤まで差は出なかったが、市立高津の粘り強いアグレッシブなDFで10-8で前半を終える。

後半立ち上がりは、市立高津が粘り強いDFからチーム全体でよく走り、速攻で得点を重ねていく。市立小松は、GK上嶋の好セーブもあり、13番小林のステップシュートで1点差まで詰めよったが、追いつくことができず、19-18で市立高津が勝利した。

31年 3月 25日

記載者氏名 西山 倭人

戦 評 用 紙

女子2回戦

会場 市川市塩浜体育館

チーム名	総得点		総得点	チーム名	
聖和学園	<u>18</u>	9	—	14	県立那覇西
		9	—	19	
		—	—	—	
		—	—	—	
		—	—	—	
		7mTC			
			<u>33</u>		

前半1分、那覇西の4番久場川かステップシュートを決め、ここから3点を連取する。対する聖和学園も7分にインターセプトから6番岩渕のシュートが決まり、11分に3-3の同点とする。18分には再び聖和学園が同点に追いつくなど一進一退の攻防をみせるが、終盤に那覇西の精度の高い攻撃が決まり、那覇西が14-9とリードして前半を終える。

後半は、両チームとも互いに点を取り合う形で進んでいくが、9分、11分に那覇西の6番宮里の絶妙なサイドシュートが連続して決まるなど、4点を連取して聖和学園を突き放しにかかる。終盤にも那覇西は疲れのみえる聖和学園に対して7点を連取するなど、終始、足が止まることはなかった。那覇西は33-18で聖和学園を下して、その力を存分に発揮した。

31年 3月 25日

記載者氏名 岩瀬 亮

戦 評 用 紙

女子2回戦

会場 市川市塩浜体育館

チーム名	総得点		総得点	チーム名
県立不來方	<u>29</u>	10	—	6
		19	—	11
		—	—	—
		—	—	—
		—	—	—
		7mTC		
			<u>17</u>	県立幕張総合

1回戦を勝利し、勢いそのままいきたい幕張総合だが、不來方の11番川村のセットプレーや攻守の切り替えの早い展開で3連取され、立ち上がりに苦しむ。中盤、幕張総合のGK矢野のセービングが光り、6番関のサイドシュートで2連取し、前半20分頃、5-5の同点となる。しかし、不來方の2番東のポストプレーなどコンビネーションの取れたオフェンスに10-6とリードをつけられ前半を終了する。

後半の立ち上がり、不來方が5番戸羽、6番藤原の得点などで4連取すると幕張総合も7人攻撃など多彩なプレーで対抗した。しかし、不來方の4番阿部を中心とした機動力のあるオフェンスに最後まで苦しみ、29-17と大きくリードを広げられ、不來方の勝利となった。

31年 3月 25日

記載者氏名 西山 倭人

戦 評 用 紙

10

女子2回戦

会場 市川市塩浜体育館

チーム名	総得点		総得点	チーム名
桜花学園	<u>16</u>	6	—	8
		10	—	10
		—	—	—
		—	—	—
		—	—	—
		7mTC		
			<u>18</u>	県立今治東

前半1分、今治東の3番加島がポストシュートを決め先制すると、桜花学園も3分にポストの5番足立が得点、両チームともにGKを中心とする統率のとれたディフェンスで失点を防ぐ。今治東は、21分に退場者が出るも、ここを1失点でしのぐ。すると、桜花学園1点リードとなった残り5分から、今治東の速攻が2本決まる。終始締まった展開の中、今治東の2点リードで前半を終える。

後半は、3分に桜花学園に退場者が出ると、ここで今治東の2番木村が、落ち着いて7mスローを決め、次第に今治東のペースとなる。最大5点差をつけた今治東が優位に試合をすすめ、互いに堅守と速攻が光ったゲームは今治東に軍配が上がった。

31年 3月 25日

記載者氏名 岩瀬 亮